

【開講日】令和5年4月5日（水）

文学

0501013

# 漢詩を読む

— 詩の誕生 —

受講料 (振込額)	12,500円				
必携テキスト	——				
講座概要	曜日	水曜日		日程 4月5日・19日 5月10日・24日 6月14日	
	時間	13:00～14:30			
	回数	全5回	定員		40名
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F 大教室			
講師	元國學院大學講師 <b>小笠原 博慧</b> (おがさわら ひろとし)				
	1941年生まれ。1965年、私立高校教諭(漢文)。1974年、公立高校教諭(国語)。1999年、同中学・高校校長。その間1975年、國學院大學講師(漢文学)。1982年、市立大月短期大学講師(文学、日本語)。1988年、武蔵野女子大学講師(仏教学、日本仏教史)。同大学仏教文化研究所所員。1988年、福泉寺住職。				
内容	漢詩は元来口伝(口承)されていた。神や祖先への祈りのことばであり、生活や労働の中の歌謡でもあり、素朴な表現によるものだった。B.C. 1100年代の西周の初めから春秋時代末(B.C. 600年)までに黄河流域で作られたものが、孔子によって編さんされ『詩経』が成立した。中国詩の文字化の最初となる。 詩305編は作者不明であるが、多彩な内容である。(1)風(ふう)(十五国風)は地方色を示す160編、(2)雅(が)(小雅・大雅)は周の王室の歌105編、(3)頌(しょう)は、神楽歌40編という構成である。 また、比・賦・興という修辞法を使い、詩の形式も内容も素朴ではあるが、永久に変わらぬ人間の営みと心理の真実が強く表現されているところを読み取りたい。				
	① 4月5日:『詩経』国風を読む(1) ② 4月19日:『詩経』国風を読む(2) ③ 5月10日:『詩経』国風を読む(3) ④ 5月24日:『詩経』国風と雅を読む ⑤ 6月14日:雅と頌を読む				

世界の幸せをカタチにする。  
Creating Peace & Happiness for the World



武蔵野大学

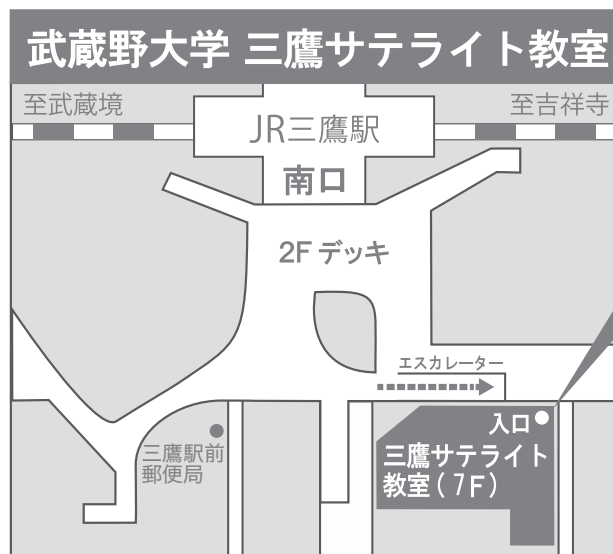


武蔵野大学社会響創センター  
〒202-8585 東京都西東京市新町 1-1-20  
TEL: 042-468-3222  
月～金(祝祭日除く)9:30～16:30  
エルエルエス  
<http://lls.musashino-u.ac.jp/>

武蔵野大学 生涯学習

検索

# 武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013  
東京都三鷹市下連雀3丁目26-12  
三鷹三菱ビル

JR中央線・総武線  
東京メトロ東西線  
JR三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 7F  
(三菱UFJ銀行のビル)

1階入口からお入りください。

- ・「受講の手引き」「新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのお願い」を必ずお読みの上、ご参加ください。

《徹底のお願い》

☆マスクは清潔な不織布で、鼻口を覆ってください。